



旭川市立神居東小学校 学校だより

# ぬくもり

旭川市神居1条17丁目 Tel 62-2932

令和 2 年 9 月 9 日発行 第 5 号

「今の自分」から「よりよい自分」へ

校長 澤田 匡史

2学期が始まり、4週目に入りました。今なお、新型コロナウイルスが猛威を振っている状況にあります。今学期も、引き続き感染症対策を講じながら、「自ら学ぶ意欲と深い思考力をもって協働する子ども」「最後までやりぬく実行力のある子ども」「生命の大切さを理解し、心身ともにたくましい子ども」の育成を目標に、教育活動の充実を図ってまいります。

また、2学期は、運動会や学習発表会、宿泊研修、修学旅行等、多くの行事が予定されております。各行事は、「新しい生活様式」を踏まえた内容に変更します。制限のある中ではありますが、子どもたちの力が存分に発揮され、価値のある活動となることを目指し準備を進めています。何卒、趣旨をご理解いただきますようお願い申し上げます。

さて、校内放送による2学期の始業式で、「今の自分」から「よりよい自分」へ成長するための「めあて」を確認するために、次の内容について子どもたちに話しました。ご家庭でも話題にいただければと思います、掲載させていただきます。

これから皆さんに2学期に頑張ってもらいたいことを話します。内容は1学期と同じです。それは、「一生懸命勉強して、自分を伸ばす」ことです。

勉強とは、知らなかったことを知ることです。

勉強とは、分からないことを分かるようにすることです。

勉強とは、できないことをできるようにすることです。

勉強する前から、何でも分かっている人はいません。分かっているなければ間違えるのは当たり前です。ところが、人前だと間違えるのが恥ずかしくなってしまうです。正しい答えばかりで授業が進んだり、分からない人が周りの友達に笑われたり、馬鹿にされたりしながら進んだり、間違えるのが嫌だからと誰も発表せずに授業が進んだりしたら、それは勉強ではないと思います。

そうならないためには、一人一人が考えて、自分の考えを思い切って口にしてみることです。聞いている人は、友達の間違えても、笑ったり馬鹿にしたりしてはいけません。どうして間違えたのか、一緒に考えることが大切です。そこからが本当の勉強の始まりです。

また、1学期と同じように、「友達と協力すること」「最後まであきらめずにやりぬくこと」「心と体を鍛えること」についても、自分を伸ばすために、めあてにしてください。

一つ目は、友達と協力することについてです。ぜひ、たくさんの友達と協力して勉強や運動をしたり、掃除当番や学級の係活動をしたりしてください。友達と協力できる子は、優しい子になりますし、賢くなれます。

二つ目は、最後まであきらめずにやりぬくことです。勉強や運動などで、途中、辛くなることもあると思います。ぜひ最後までやりぬいてください。そして、最後まで頑張ったときは、自分をほめてください。

三つ目は、心と体を鍛えることです。心と体がじょうぶであれば、間違いなく楽しい学校生活になると思います。辛くても、最後まであきらめないで頑張ったり、学校のきまりをきちんと守ったり、いじめは絶対に許さなかったりすることで、心が鍛えられ強くなります。

さて、何もめあてをもたず、だらだらと毎日を過ごしては、自分を伸ばすことはできません。少しでもよりよい自分を目指すめあてをもって過ごすことが大切です。そして、できたときもできなかったときも、どうしてできたのか、どうしてできなかったのかを振り返ることが大切です。

2学期は、一年で一番長い学期です。「一生懸命勉強して、自分を伸ばす」ことを目標に、皆さん一人一人が大きく成長してほしいです。

校長先生も先生方も、精一杯応援します。皆さんの成長を楽しみにしています。

